

SADA

SAKAI DESIGN ASSOCIATION

堺デザイン協会

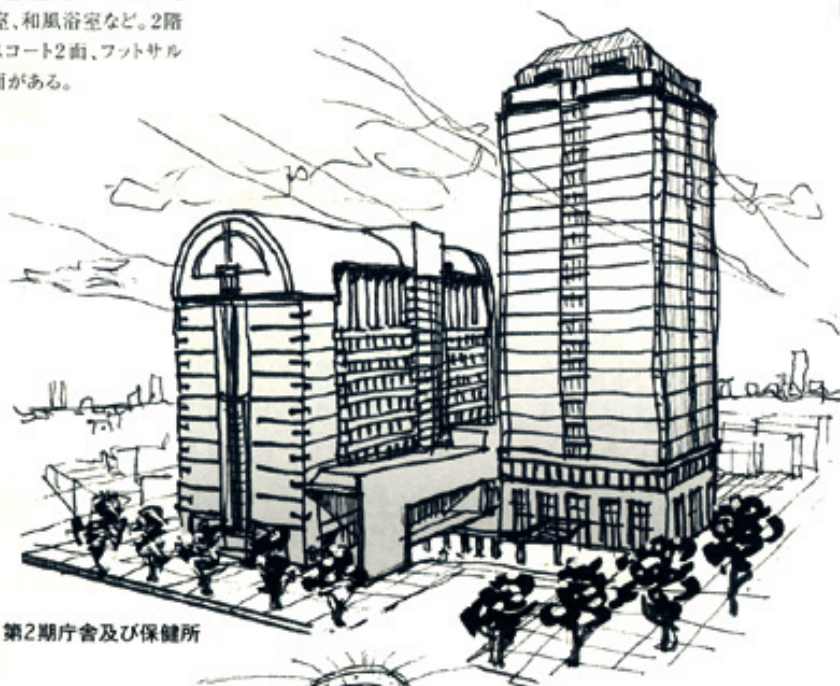
NO. 24
2004年12月

堺市金岡町のゴミ東焼却場の
余熱を利用して、「のびやか健
康館」が完成した。設計は初
めてアトリエ系設計事務所
に決定。黒川紀章建築都市設
計事務所が担当。

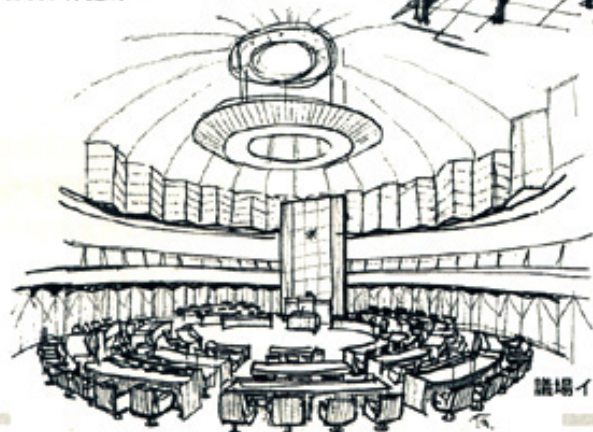
延べ床面積約1万㎡のスポ
ーツ練習場。1階にはフィットネス
大小3部屋、屋内プール3ヶ所、
洋風浴室、和風浴室など。2階
はテニスコート2面、フットサル
コート1面がある。



東工場余熱利用施設
『のびやか健康館』



堺市 第2期庁舎及び保健所



議場インテリアスケッチ

堺東の南瓦町に堺市庁舎が完成した。
昭和61年に設計競争により、(株)佐藤
総合計画に決定。コンセプトは「未来と
伝統の調和」に基づき、高層棟は「未来」
を第2庁舎は「伝統」を表象するデザイン。
政令指定都市を目指しているため、議場
など工夫の設計を見学した。

巻頭のことば

堺デザイン協会 副理事長 舘野羊一



〈1〉21年目を迎えました。

私たちの堺デザイン協会は創設以来、21年目を迎えました。多くの先輩デザイナーが南大阪・堺・を中心にいろいろなデザイナーに呼びかけられ、集まり、デザイナーだから出来る活動を、堺市

を中心に各種の活躍をして参りました。まずは交流の場を設け、関連各所の方々との交流と討論をしました。また、地域の方々へのデザインに関する相談を受ける会に参加したり、堺市の各種デザイン政策への提言、また町並みデザイン審査などにも参加して貢献して参りました。

企業や賛助会員の方々には日頃からご支援、ご指導をいただき誠にありがとうございます。

デザインを通じて、堺地域と、交流と貢献を計り、あわせてデザインの啓蒙をより進めて、デザイナーの地位向上を計ろうとするものであります。

〈2〉みんなで新しくします。そして多くの新しい人々の入会を期待します。

1・堺デザイン協会は広く「文化」に関与されている人々とも、交流を深め、会員の幅を広げようと思います。これまでも友好を重ね交流をして参りました会友の方々に会員として働きかけます。参加して下さい。

2・堺市の若いデザイナー志望の方々には働きかけ、セミナーなどを開催して、新しく準会員を検討し、地域のデザイン活動に参加してもらい、提案をしていただこうと思っています。

3・近畿各都市にあります地域のデザイン協会と、交流を始めました。各協会には、日本を代表するようなデザイナーもおられます。学んだり、こちらから提案したりする場が持てます。この夏の終わりに実行委員会が持たれました。まず、初めての討論として、各地域の「観光について」研究します。堺をよく研究して、「観光」の面での提言計画を議論して堺地域の発展のため研究を始めます。

以上ご報告申し上げました通り、わたしども、堺デザイン協会は着実に活動しております。理事会は定期的開催し議論しております。理事会に聴講ご希望の方はぜひお申し出いただき参加してください。

『心のこもったデザインを』

堺市議会議員 池原喜代子



堺市議会議員の池原喜代子でございます。故松村壽元堺市議会議員のご紹介で、堺デザイン協会の賛助会員に加入させていただき約2年になります。不馴れで多々ご迷惑をおかけすることがあると思いますが、どうかご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

私は平成3年4月堺市議会議員に初当選、現在4期目を迎え、15年度は堺市議会副議長の大任を押し、お蔭様で大過なく任をまっとうすることができました。

私の政治信条は「赤ちゃんからお年寄りまで優しさと思いやりのある堺の街づくりを!」を掲げ、ソフト面、ハード面に亘り、優しさと思いやりのある堺の街づくりをあらゆる機会に訴えております。

バリアフリーは勿論のこと、すべての人にやさしいユニバーサルデザインの考え方が大事であると思っています。例えば荷物を持っている時や怪我をしている時にドアの開閉は大変です。また妊娠中の人やベビーカーを押す人、車椅子の人や高齢者の方々にはこここの歩道はとても危険です。又、文字が小さいとお年寄りや視覚に障害のある方には読みにくいですし、色を組み合わせる時には同じような色や、強さ、弱さが似ている色を使わない事が大切です。

バリアフリーは段差解消、スロープといったイメージがありますが、ボールペン、台所用品、自転車等、身の周りの品からエレベーターなどの建築設備や都市空間に至るまで幅広い対象となります。急速に進む高齢社会、増大する高齢者市場を見渡した時、もの作りに関わる人は、障害者、高齢者、子ども等すべての人に使いやすい、もの作りが必要です。さらに公共的施設を整備する場合、従来のバリアフリー化対策ではなく、最初からバリア（障壁）のないユニバーサルデザインの考え方が今、求められています。私はこれからもユニバーサルデザイン普及にしっかりと取り組んで参ります。

最後になりましたが堺デザイン協会の皆様におかれましては、益々のご活躍とご発展を心より願っております。

(堺デザイン協会 賛助会員)

堺の夢に未来を託して

堺デザイン協会 理事長 岡村 筈

イラクの攻撃を第三者の立場で傍観している日本人は、第二次世界大戦で外国人からどの様に見えていたのだろうか。攻められている立場からは見えなかったものが、今いろいろ見えて来る。同時に爆撃を受けている人々の様子が、我が身のことのように感じられる。かつて堺は大東亜戦争により壊滅的な打撃を受け、その廃墟にいま壊されている旧堺庁舎とその前にある蘇鉄がポツンと残った光景が目に残り付いている。

世の中を取り巻く近頃のTVニュースは暗くて殺伐としている。堺は政令指定都市を目指している。人の数と財政力だけだろうか。勿論都市基盤の整備も不可欠だが、敗戦の時点にたち帰れば今から先を支える夢と希望の創り出すことが何よりも要る事ではないか。人が人らしい気持ちになれる夢と希望を創ろうではないか。

日本の様な資源のない国はもっと知恵を売らなくてはならない。観光立国も国の施策の一つなら、堺を売り出すブランドは何か、英知を集めて考える時だと思う。我々クリエイターの仕事ではな

いか。いわゆるサイトシーイングではなく、堺の最大の観光資源は町の歴史とその遺産、仁徳陵である。世界に通用するブランドはこれしかない。かつて世界古墳会議が堺で開かれたことがあった。この時はエジプトのピラミッド、イタリアのトンブ、中国の始皇帝陵などが話し合われたが、仁徳陵はそれらに勝るとも劣らない世界的遺産である。仁徳陵は皇室の陵墓、天皇家のお墓である。それだけに難しいこともあって、これまで手が付けられずに今に至っている。しかしピラミッドも始皇帝陵も王や皇帝の陵墓である。

この度、堺から国土交通省の北側大臣が誕生した。堺にとってはたいへん誇らしい事である。以前北側先生とお話した際、仁徳陵のことを申し上げたことがあった。今は大臣として多忙の毎日をご過ごしておられることだろうが、この話は国レベルのこと、堺でもよく話し合せて是非お力になって頂きたい。

堺ブランド(仮称)について

事業担当理事 伊藤浩平



現在理事会の皆さんや有志の方々と一緒に「堺ブランド」の立ち上げに向けて事業化プランを進行中です。

「堺ブランド」とは簡単に言えば「Gマーク」の堺版を堺デザイン協会が中心となって進めて行こうと言うものです。

堺が誇る産業・文化を「堺ブランド」として認定する事でデザインに対する意識向上を目標み、ひいては産業再生や観光事業の活性化に繋げていきたいと考えています。

また、その事業をとおしてデザイン協会としても活性化し、シールの販売等による収入源の確保と新規会員の増加に繋がるよう、育てていきたいものです。さらにデザインに対する意識向上により、堺デザイン協会に対してもデザイン依頼やコンサルティング業務の依頼等が発生する可

能性も生まれ、それによって協会に加入してくれる会員や協賛企業も増える事でしょう。

まだまだ準備段階ですが、北花田に今秋オープンした阪急百貨店内で「堺コーナー」をつくるという情報もあり、具体的に計画を進めるきっかけ、起爆剤となりえるかもしれません。

この計画は会員の皆様のご協力により進めていけるものです。計画が具体的になって参りましたら皆様にご説明の場を設けたいと考えております。どうぞ、皆様の積極的なご参加をお願い致します。

そこで、まず最初の仕事として名称を決定したいと思い、この事業の主旨をご理解いただき、皆様から名称の募集を致しました。その後ロゴマークの作成へと進み、事業主旨をまとめたパンフレットの

作成し、各事業体、商工各組合などに配布。初年度の「堺ブランド」への登録を頂くと同時に、堺デザイン自らもノミネート候補を上げ、ノミネート作品を決定。会員からの投票と理事会での審査を経て「第1回堺ブランド」を決定。各対象者に通知を行ない、マーク使用についての許可とシールの購入をお薦めし、認定証を発行。

以上の様な流れで進めて行く予定をしております。会員の皆様にはボランティアで参加して頂く事も多く、負担をおかけする事にもなるかと思いますが、是非この事業を少しずつでも堺に定着させ、デザイン都市堺の実現に向けて、ご協力頂きます様、宜しくお願い致します。



そして今は

安永一典

「安永君は将来、お百姓さんと先生にはなりたくない、って言ったの憶えてる？」先日中学校の同窓会があった時1年の時の担任の先生からニコやかに指摘されてしまった。当時は登校、下校時、未だあちらこちらに田んぼがあり、そこで農家の方が一生懸命に働いているのを見たり、学校では先生方が忙しげに動いているのを見て、ただ単純に、将来何になりたいの、の問いに答えてしまったのを、未だに憶えていたらしいのである。

会社内で働いている人達の姿は、日頃見ることもなく、日々目にするものだけが印象に残っていたのであろう。それが今、言葉とは裏腹に大学の教授をやっているじゃないか、と言いたかったらしい。意味することは異なっている、指摘されても仕方がないのかも知れないが、それにしても良く憶えていたものである。子供の頃、何十年先の自分の姿など想像出来るものでもないし、まさに運命の糸に操られるがままなのかも知れない。

自分の意志とは関係なく、大学でデザイン教育に携われることになり、非常勤の時代を入れると、何時の間にか25年を超えてしまった。自分達がデザイン教育を受けた25年前、そして今を比較すると、その実態なり内容は驚く程変化していることに思い至り、頭をかしげざるを得なくなる時がある。

吾々の時代、教室をはじめ、設備など殆ど無く、実技は貧しい道具で描き、本を読み、因にギーディオンの「時間・空間・建築」、レイモンド・ローウィ「口紅から機関車まで」その他ハーバート・リード、マンフォード等々、映画を観、音楽を聴き、喫茶店でねばって議論している毎日であった。

25年程前、初めて非常勤で大学で教えた頃には、未だT定規であったが、教育のシステムはかなり確立されていた上、他の設備もかなり充実していた。遊びのスタイルは、吾々の時代より大きく変化し、多種に亘り、その分本を読むことが減り、多少の議論は聞いたものの、内容が柔軟になっているように感じたものである。それが今、大学の違いはあるものの、デザイン教育の内容がまったく異なったものに変化してきてしまっている。図面もパースも描くのはコンピューター、本など読む学生は減り、一般教養科目や基本的なデザイン理論や実技も少なく、激しく議論したりすること等もなく、聴く音楽や遊びもまるで異なっているのが現状である。

デザイン教育は、教養と基本を先ず身につけ、発想力、創造力を高めるものから、むしろ表現力などの方法論に力を入れるように変化しているのを感じざるを得ないのである。大学が増え、その上少子化で、競争も激しく、商業化せざるを得ないのが現状であるように思えるのであるが、果たしてこのままで、若い人達は社会に果立って大成するのか、いささか疑問に感じざるを得ない。

江戸初期の茶人で造園家、建築等も手がけた小堀遠州の、京都大徳寺孤蓬庵の茶室は「忘筌」という名のものであるが、これは荘子の「魚を得て筌を忘れ、兔を得て蹄を忘れよ」からその名前をとったものであり、それは目的を果たすために何を考え、目的を果たしたあとは、その方法や道具は忘れよ、という意味である。

古代から脈々と続く人間の偉大な遺産、パルテノン神殿やローマのコロッセオ、ノートルダム寺院、ヴェルサイユ宮殿、はたまた日本の桂離宮、勿論コンピューターもなければケント紙もトレーシングペーパーもない時代に、これらの名建築を如何に設計し、又造り上げたものか、現代の吾々には想像することも出来ない。まさに「忘筌」そのものと言えるのではないだろうか。

私自身が大学教育に携わるのは、あと少しの短い期間であり、その間に何をなせるかは自分でも疑問に思う。しかしその短い期間こそ、逆に最も大切な時間なのかも知れない。

誠に不遜にも、以上述べたこと等を含め、自己の定年を記念して、一冊の本にまとめることを決意し、現在原稿を仕上げつつある。今後体裁を整え、推敲を重ねて、赤恥をかかないように仕上げる積りである。題名は未だ心の中にあるだけで、果たして皆様にご賛同頂けるものになるかどうか、少々心配をしている昨今である。

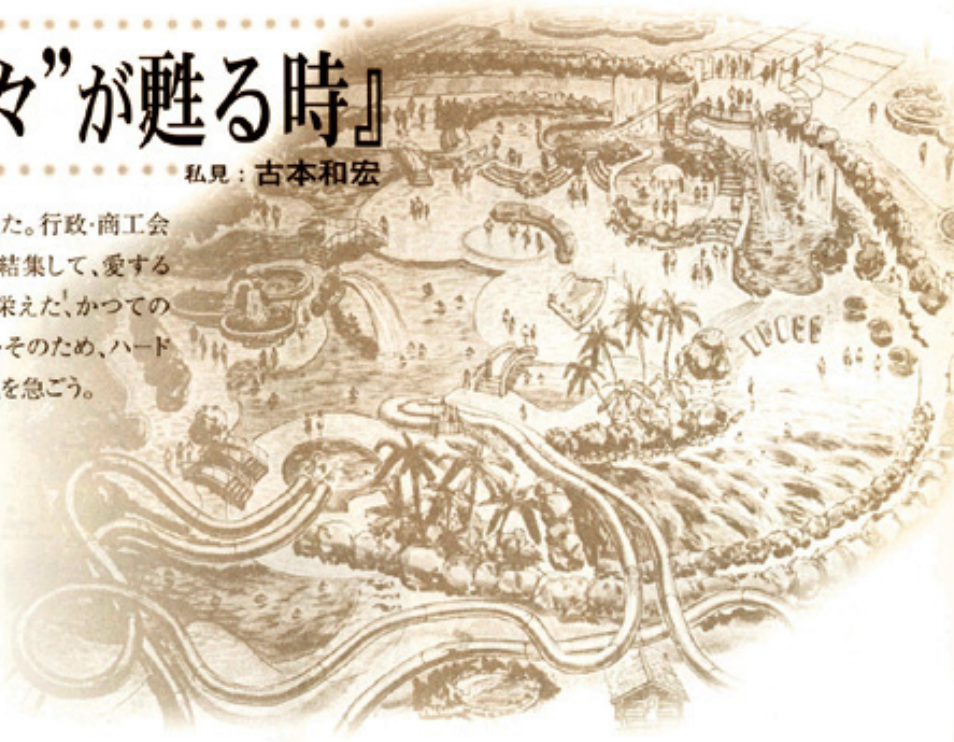


『堺“黄金の日々”が甦る時』

私見：古本和宏



堺は「まちおこし」の期を迎えた。行政・商工会から市民全員の知恵と力を結集して、愛する我が街「堺」を自治都市で栄えた、かつての強力な姿をとりもどそう！ …そのため、ハードとソフト及び環境整備の推進を急ごう。



Ⅰ ソフトのすすめ（観光政策）

- イ、「杜の都」宣言：緑化推進大運動
- ロ、「東洋のベニス」宣言：西洋人が説いたらしい
- ハ、「語り部」騒動のすすめ
- ニ、「観光客誘致賞」を物販店、飲食店に
- ホ、手軽に買える「堺のブランドグッズ」
- ヘ、「堺ブランド」休眠商品復活良品開発
- ト、「屋台売店」「朝市」「夜市」から始めよう
- チ、「迎賓の心構え」教育・啓蒙活動
- リ、「観光客の満足！」ノウハウ研究と実践
- ス、「古墳群を“大和遺産”に登録！」

Ⅱ ハードのすすめ

- イ、杜の都、実現に「空き地に樹木を」「休耕地には四季の花」を行政が支援する。
- ロ、「伝統・堺の証」標識類の充実、徹底
- ハ、「貸し自転車」「レンタカー」の普及
- ニ、復元良品の開発デザインのすすめ

Ⅲ 環境整備のすすめ

- イ、お祭り広場型の朝市・夜市を定期～恒常化
- ロ、公衆便所等の整備推進（公園・緑地内）
- ハ、緑地添い公園内に（イ）の場を開放
- ニ、臨海新都市を日本初「完全エコシティ」宣言！

①都市のスタイル

- a. 岸辺添い：漁師町・港町（緑化公園）・ヨットハーバー・商業施設
- b. 岸辺以外：城下町・門前町風住宅・丘陵池・小川

②都市の用途（商業・住宅・農業・漁業・工業）

- a. カジノ構想（都市政策研究所案）を中心に観光客も馴染む楽園（スーパーリゾート）生活都市で、天然温泉普及で満喫できる大温浴施設では一般市民も渾然で長期保養施設（市民学級）は特養、大病院も併設。
- b. スポーツ広場（産業廃棄物埋立跡地）は第二公子園を中心に、サッカー場を含むサーキット場とし、新都市にまたがった国際級のサーキット場も造り、需要に応じて簡易宿泊施設、レストランも設置。
- c. 丘陵の造設土砂は、原則として建設廃土の盛り土、噴水の頂上池からは小川と滝が周辺の緑に包まれ、自然環境は蛍も舞う街、汽水域にはボラもやってくる。

③都市設備（完全リサイクルエコシティ）

- a. 給水：雨水利用（建築内貯水槽：港湾部貯水池より、上水・中水を供給）
- b. 排水：下水処理場で肥料化・農

園工場で消費

- c. 発電：風力・ソーラー発電のすすめ

④生活リサイクル

- a. 生ゴミは肥料化し菜園で使う、紙類は業者が収集リサイクル
- b. 生活用品リサイクル運動（自治会活動）
- c. 菜園野菜類・魚類の朝市・夜市で消費
- d. 農業工場の収穫は都市内で消費
- e. 臨海をつなぐ堺の循環道路計画（計画中断中）はスーパーリゾート都市の出現で、実現の必要にせまれ、東西線の完成につながる。

Ⅳ 計画推進の手順

- イ、ブランド製品は、現有の各社が担当、休眠商品は商工会議所が主導、方向を示し入札方式で競り落し社が担当、商品化。
- ロ、朝市・夜市・屋台などは、定期的から恒常的にしたいが、ハコ物が必要となる迄の暫定的な商法と位置づけたい。
- ハ、公共施設等に関係するものにも行

政の協力と理解が要るが、運営形態は民営方式とする(貸自動車・レンタカー等)

ニ、「語り部」の育成は、商工会議所と行政が担当し、原案作りには賞を出すなど、市民参加で手作りの熱意を涵養したい。

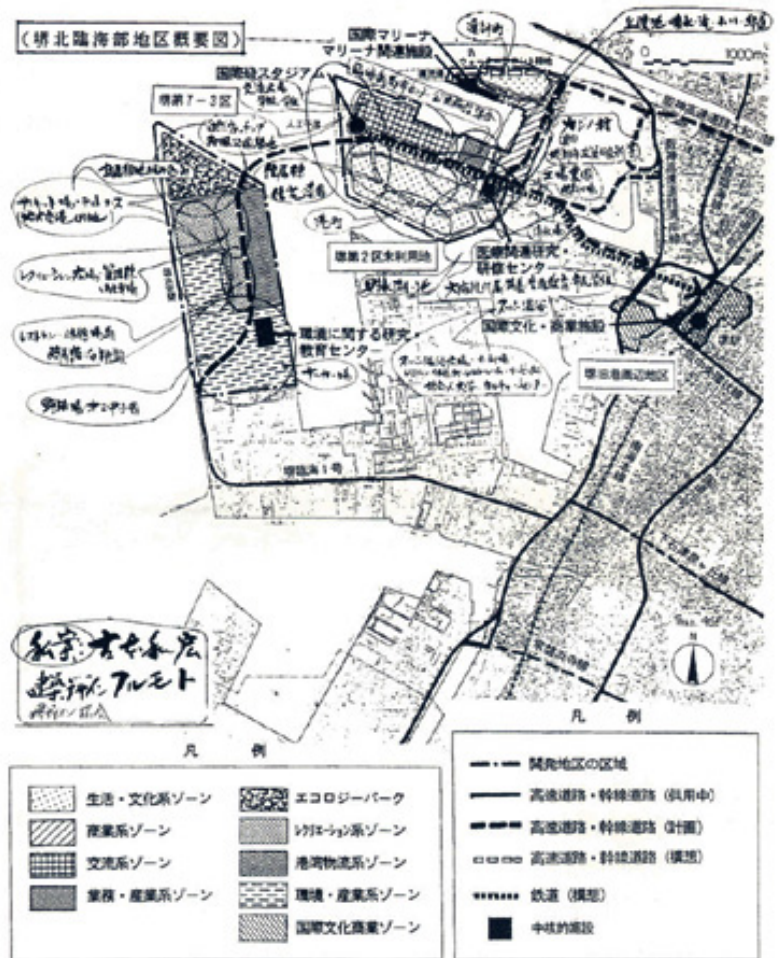
ホ、「観光客誘致賞」で、商工会が商人のやる気を引き出す。

ヘ、臨海新都市開発

①新日鉄裏の西側地域

ヨットハーバー計画の入江北側は大阪ガス、南側は新日鉄の所有地、事業計画案を基に開発企業が借地権の設定など両社の理解と協力を求めれば実現できるであろう。産廃跡地は大阪府の所有地で、企画案が採用され開発が実施される場合は、東西線ともつながる延長道路の連絡橋も当然に必要となり計画道路は実現する。

景デザイン協会会員・建築デザインフルモト
主宰 古本和宏 TEL・FAX072-257-7056



堺デザイン協会・平成16年 活動記録

堺市新庁舎の見学会

2月26日・堺東堺市庁舎

●堺デザイン協会主催、関西インテリアプランナー協会協賛で見学会を、堺市の国際文化局のご協力で行いました。



●プロジェクト名「堺市第2期庁舎および保健所建設工事」

●昭和61年に設計競技により選定された「佐藤総合計画」の設計、監理による。施工会社は竹中工務店。

●デザインコンセプトは「未来と伝統の調和」とされ、かつ高度情報化社会に対応するインテリジェントビルとしてシャープで透明感のある計画とされています。広く堺市民に親しまれるよう、多くの開放空間があり、屋上緑化庭園で省エネの徹底も施工されました。

●インテリアは質素な材料ではありますが、樺さくら材で統一され、上質な仕上がりが見られました。地元企業が多く参加されたと聞いています。

●関西インテリアプランナー協会の方々とも交流が持てましたし、今後も協賛したいものです。

42名の参加者が集まり、堺市係員の案内で、最上階の円形議事堂、市長室、助役室、委員会室、議員控室、1階エントランスホールなどを見学し、2階市民プラザで質疑応答をして解散しました。



第21回 通常総会

5月15日・割烹「もち月」

総会の前に、理事会メンバーが堺市の中心地の商店街「山内商店街」を見て、活性化を目指す地元をよく知ろうということで、開口神社に集合。神主から、神社の歴史と商店街の歴史。過去の栄華な時の「山内商店街」のこと、などを伺いました。

「夢くらぶ」サロンでは、活性化委員会の副委員長から、始まった地域活性化の実行中の努力を伺いました。やや寂しい商店街でしたが、もう一度新しいビジョンを創造して実行されていることに感銘を受けました。

総会は伝統ある和風割烹の会議室で開催しました。

議事

- 第1号議案 平成15年度事業活動報告及び収支決算報告
 - 第2号議案 平成16年度事業計画案及び収支予算案
- について、議論し質疑応答を持った。協会の組織強化、会員の増員、事業実行を着実に進めようとの意見などが発言されました。両議案とも原案通り承認されました。
- 懇親会では堺市長からの祝電、来賓から協会の発展をと祝辞をいただきました。みなさんと堺市の未来像についての意見交換があり、有意義な印象が残りしました。



総会のような「もち月」にて

近畿圏デザイン協会合同会議と懇親会

5月30日(日)

奈良西ノ京・薬師寺「萬京」にて堺デザイン協会・奈良デザイン協会・京都デザイン協会・神戸デザイナーズ協会・びわこデザイン文化協会の5つのデザイン協会の49名の各会員が集まりました。

- P13を参照してください。



参加49名のデザイナー

近畿圏デザイン協会協議会 第一回研究実行委員会の開催

10月9日(日)

奈良市・共済会館「やまと」にて

- これからの共通テーマについて。
- 奈良、京都、神戸のデザイン協会と堺デザイン協会が参加して開催。
- P10を参照してください。

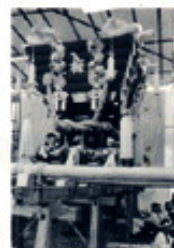
堺地域の観光資源を視察 デザイナーの参加でもっと堺を知ってもらうためには

近畿圏デザイン協会による研究テーマ「観光資源調査」のため、あらためて「百舌鳥八幡神社・名月祭」の「ふとん太鼓」(9月25日・26日)にこだわって見学。また、「堺まつり」のパレード(10月16日・17日開催)を詳細に見学し、観光コンベンション協会のご努力に感銘を受けました。堺デザイン協会も末席ながら後援しています。

あれだけのパワーがあるお祭りをなぜもっと関西一円に知ってもらえないのでしょうか、とも、思いました。『ふとん太鼓』

の神社と「地車・だんじり」の神社との文化の違いはどこにあるのでしょうか。天神祭りでは両方あるようです。枚方神社もそうです。

関西だけの「ふとん太鼓」と思っていましたら、長崎「おくんち」の中に「ココロデショ・太鼓山」が全く見かけは百舌鳥八幡の「ふとん太鼓」と同じです。なぜ。



長崎の
おくんち



『だんじり』分布地図を見ますと大阪市内が多く、岸和田、泉州だけのものではないことも分かりました。もともと大阪中心部の戦争で空襲にあって焼け野が原になった地域には「地車」はありません。これも民間伝承によるお祭りのためと、文献は記述しています。これらの文化にお詳しい方の参加を堺デザイン協会はお待ちしています。南大阪の観光資源を調査しましょう。起こせる埋蔵文化は豊富ではないでしょうか。

理事会は毎月開催しています。ご見学下さい。

いろいろな問題を議論、検討しています。特に組織強化について、会員を増やすことが大切で、努力しています。オブザーバー参加をしてください。

- 11月の理事会は16日に開きました。



堺を知ろう



古くから栄えた堺の旧街道



岡村 筍

うさぎと亀



河内長野から国道371号線紀見トンネルの手前に兎と亀の石彫がある。さりげなく山側のくぼみがあるので、見過ごして通るが、交通量とカーブの多い371号線を「ゆっくり走りましょう」の洒落たサインである。

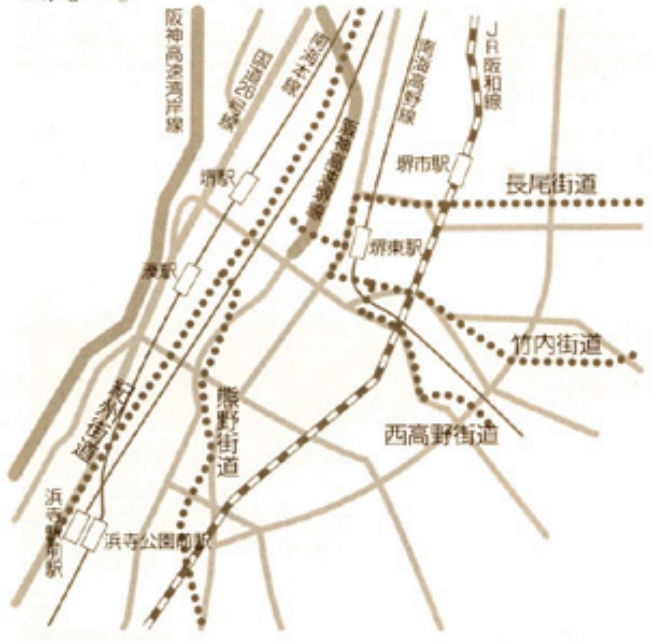
この道は昔、「西高野街道」と呼ばれた高野山への道で、紀見峠の上には旅籠の名残りも何軒か残っている。今ではこの古い峠の道は殆ど通らなくなったが、里程石と番所跡の立て札がある。里程石とは堺の大小路橋を起点に高野山女人堂「慈尊院」まで一里ごとに建てられた道標石で、女人堂まであと六里を示したものだ。表には「南無大師遍照金剛」とあり、幕末の安政4年に建てられた。

堺の大小路橋のあったところは今当時の橋の欄干石が高速道路の下にひっそりと残っているのみである。



A.旧街道

古くから栄えた堺の町には、五つもの旧街道が今でも残っている。旧街道沿いに町を散策し、古の人の交流に思いをはせるのもいいかも……。



1.竹内街道 堺市内延長8km

古代より、堺と奈良・飛鳥間の政治、経済、外交のルートとして発達した道。金岡神社沿いの大道の土掘りと白壁の家に面影を辿ること事ができる。



2.西高野街道 堺市内延長15km

平安時代の中期以降、高野詣が貴族から武士や庶民にまで広がった。この道を通して詣でたと言う。関茶屋には、道標の他にも地藏堂、祠、旧家のまちなみも時代を偲ばせている。

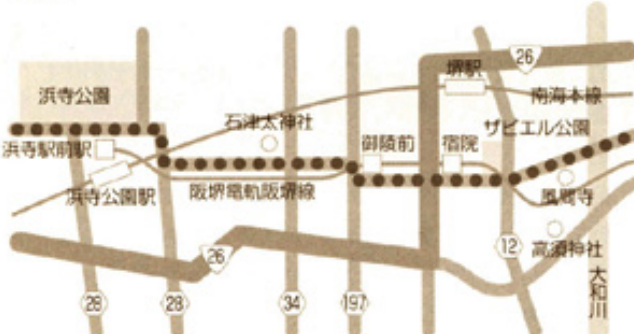


3.熊野街道(小栗街道) 堺市内延長(山ノ口橋~鳳南町) 5.6km
熊野への参詣道として発達した道。山之口橋のすぐ北の南宗寺や鳳南町の二基の道標が熊野街道の目印。



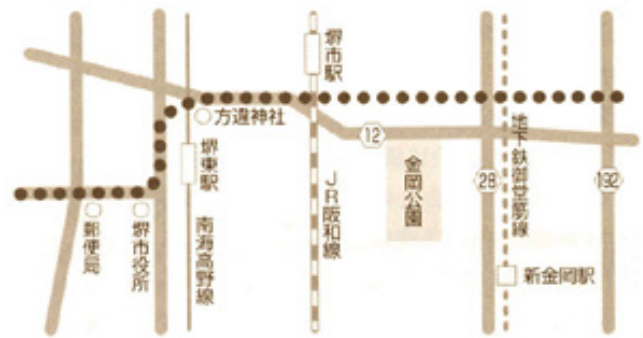
4.紀州街道 堺市内延長5.4km

江戸時代に紀州・泉州の交易ルートとして栄えた道。大道筋の東側には多くの古い町並みが残り、材木町東一丁の商店街には「右住よし 大さか」などの文字が刻まれた道標を見ることができる。



5.長尾街道 堺市内延長5.5km

近世、山と街道と呼ばれた奈良と堺を結ぶ道。大阪和泉泉南線の手前の小堂に地藏があり、由来を刻んだ石碑がある。また、方違神社の前にある石碑には万葉集の歌が刻まれている。



B.市内の大通り

1.フェニックス通り

日本の道100選に選ばれた道。戦後復興の一環として、現在の大阪中央環状線に東西約2kmにわたってフェニックス椰子が植えられた。



2.大道筋

旧紀州街道にあたる大道筋は、古くから栄えた堺を南北に走る幹線道路。幅員50mの中心をローカル色豊かに路面電車が走り抜ける。付近には、与謝野晶子生家跡、千利休屋敷跡、ザビエル公園など堺の名所が集中している。



〈出典〉堺市ホームページより
<http://www.city.sakai.osaka.jp>

「近畿圏デザイン協会協議会」運営組織(案)について

実行委員会幹事協会・奈良デザイン協会

1. 合同交流会事業母体名について

近畿圏に席を置く5つのデザイン協会が集まって、何か合同で交流事業をする事業母体を設置し、「近畿圏デザイン協会協議会」を呼称します。

2. 運営委員会の設置

「近畿圏デザイン協会協議会」のもとに運営委員会を設置します。運営委員会は協議会全体の運営管理や交流事業の内容やテーマを協議し決定する機能を持ちます。

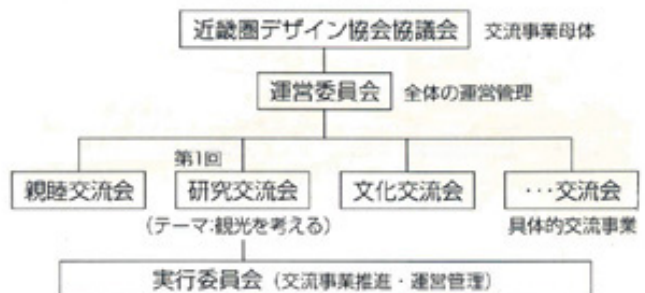
3. 「交流事業」の位置づけ

運営委員会の下に運営委員会が決めた具体的な交流事業を位置づけ、今回、交流事業の一つとして第1回目の「研究交流会」がスタートしました。

4. 「実行委員会」の位置づけと役割

具体的な交流事業の名称や内容が決まったら、その事業に張り付けて横断的に推進運営管理を受け持ちます。

近畿圏デザイン協会協議会運営組織図



近畿圏デザイン協会協議会／第1回研究交流会議事録

日時／2004.10.09 pm15:00～17:35

場所／共済会館やまと(奈良市鍋屋町)

出席者／神戸・神戸一生、片山功 堺・館野羊一 京都・藤原義明、小山比奈子 奈良・大西治雄、浦芳史、細田茂

会議目的／5月30日開催の合同懇談会にて決定された、実行委員による第一回会合。

■議事と討議内容

1. 幹事協会奈良デザイン協会・浦氏から近畿圏デザイン協会／第一回研究交流会／企画書(案)別紙を提案。

2. 同提案書2項、メインテーマ「観光(産業)を考える」について討議。

(産業)は5月30日の合意になかった。また、(産業)の重要度・関心度は地域間に差があるので削除する。

メインテーマを「観光を考える」とすることに決定した。

同提案書1項、3項、4項については特に異存なし。同2項文中の年代について誤字があり04年を03年と訂正する。

3. サブテーマについて各協会から提案がなされた。

<神戸>新居留地構想[出島構想]

神戸市には震災以降2010年に入込み観光客数を2400万人から3000万人に増やそうとする「明日の10年を考える神戸市ビジョン」があり、集客について市観光交流課と協議する中、神

戸デザイン協会から市観光交流課に当構想を提案(H16)しておりサブテーマとしていく。

<堺>観光資源・堺のスタディをスタート

堺商工会議所は堺ブランド構想を立て観光の核を探している。また、堺デザイン協会の会員自身が堺を見ていなかったところがありスタディしていく。

<京都>地場産業の活性化と観光を考える。

・「京都デザイン優品」事業とのリンク。

以前から展開してきた「京都デザイン優品」事業も数年前から当協会単独事業へ転換しており、京都商工会議所が立ち上げた「京都ブランド構想」もスタート、これらとの連動を図っていく。

・伝統技術と京町屋体験コラボレーションによる観光商品化。

京都国際交流財団「デジタルアーカイブ」事業が今大きく注目されている。伝統技術が保存再生され、再生される伝統技術を意識的に観光資源として商品化していく。京都をプロダクト(モノ、工芸)の町にしていきたい。

・観光政策の一元化に提言

<奈良>観光地へのガイドシステムとネットワーク化構想

奈良には3つの世界遺産や多くのスポットがあるが、観光客が目的地へ向かうアクセスにホスピタリティーの欠如が見られガイドシステムを構築する。

一方、観光はカルチャーであり、生涯学習の深耕意欲は価値追

求型に変換していくと予測される。ばらばらにあるスポットを繋いでいくネットワーク化構想を考える。

4. 発表形式

発表は報告書等の書類とすると目に触れる機会が少なくなり、期待する効果を得にくいと考えられるので絵や図表としてパネル等の展示形式とする。また、成果発表の場を各協会巡廻とし、当地協会の会員が参加できる人的交流の場としても活用する。また、自治体等への提案方法についても検討していく。

第一回発表会は来年2005年4月開催を目標として作業を進める。

5. 会の運営、ネーミング

実行委員会は各協会持ち回りとする。次回を12月18日、または12月11日に京都で開催する。実行委員会の開催費用は委員が持ち寄ることとする。

「近畿圏デザイン協会研究交流会」の名称を「近畿デザイン協会協議会観光研究会」等、略称を含めて検討する。次回実行委員会に神戸から提案する。

6. 琵琶湖デザイン文化協会

協会としての参加は辞退しているが、京滋地域として京都から発表会等への個人参加を呼びかけることとする。

7. 実行委員名

堺デザイン協会(SaDA)

館野羊一(インテリアデザイン) 副理事長

伊藤浩平(インテリアデザイン) 理事

京都デザイン協会(KDA)

藤原義明(グラフィックデザイン) 副理事長

小山比奈子(グラフィックデザイン) 理事

神戸デザイン協会(KDA)

神戸一生(アーバンデザイン) 理事長

片山 功(プロダクトデザイン) 理事

奈良デザイン協会(NDA)

浦 芳史(プロダクトデザイン) 理事長

細田 茂(インテリアデザイン) 理事

オブザーバー 大西治雄(グラフィックデザイン) 会長

以上



近畿圏デザイン協会協議会／第1回研究交流会企画書

1. 第1回研究交流会実施の目的と意義

近畿圏デザイン協会協議会設立後の最初の事業として、会員4デザイン協会がひとつのトレンドな共通のテーマの下に研究活動を行い、その成果をタイムリーに地域の行政や社会や企業に共同で提案し、その地域の生活文化や社会や企業の発展に貢献することを目的とする。

合同で行うことは、単独で行うのに比べ、先ず外に向けては、研究活動の成果を地域の行政や社会や企業に発表する時に、その話題性や訴求度が何倍にも大きいこと。また内に向けては、その活動プロセスにおいて、交換する情報や意見など活動の糧になる収穫が何倍にも大きいことが期待できることに意義がある。

2. 研究活動のメインテーマの設定と背景

研究活動の共通のメインテーマを「観光を考える」とする。国際交流を増進し、わが国の経済を活性化させるために、自然環境、歴史、文化等観光資源を創造、再発見、整備し、これを内外に発信することによって、わが国が観光立国を目指して行くべく、20

03年1月に小泉総理の呼びかけで、観光立国としての基本的なあり方を検討するために「観光立国懇談会」が開催され、同年4月に同懇談会報告書が取りまとめられた。

この報告書を受け、内閣が観光立国実現のための施策の推進を図るため、同年7月に内閣官房と国土交通省が中心になり関係省庁が連携して取りまとめた「観光立国行動計画」と「美しい国づくり政策大綱」が閣僚会議で決定された。今年の5月に、国の観光行政施策の一環として、国土交通省と農林省により策定された「景観緑三法」が閣議決定され、地方自治体に向けても、既に具体的な観光行政と景観形成行政の指針と施策が順次示されつつある。

このように「観光」という研究テーマを前向きに取り組むべき追い風環境が整ったと言える。ちなみに、わが国の観光産業の現状を、外国から訪れる観光客の数で見た場合、第1位のフランスが年間7600万人なのに対して、わが国は残念ながら第35位の500万人という観光後進国に入る。

3. 研究の視点

この潮流を味方にして、我々は「観光」をテーマに、デザイナーの感性と技術と方法で調査・分析・研究活動をする事としたい。我々の郷土は、歴史遺産、文化遺産を含め多くの観光素材を持つが、この観光素材の「質の高さ」なり「個性の強さ」なりが内外に向けて適切にメッセージされていなかったり、魅力ある観光資源として開発されていなかったり、観光客に対して、心のこもったホスピタリティーが欠落していたり、お土産を含む物産品が弱体であったり、いろんな問題が見受けられるが、観光産業を支えるハード面、ソフト面から課題を引き出し、研究しなければならないだろう。

但しそれぞれの協会は、地域と密着して活動しているために独自の立場を大切にすることが求められる。

そこで、このプロジェクトのキャッチフレーズを「GLOCALISM」としたい。「GLOCALISM」とは「THINK GLOBAL, ACT LOCAL」ということで、世界的・日本的立場で考え、地域で活動するというように理解したい。

4. 研究活動レンジとイベント形式

ひとつのテーマでの取り組みレンジが長期に亘っても、研究成果の質を重視し、年に1~2回合同発表のイベント機会を持ち、求心力を保つやり方で着実に実績を残したい。

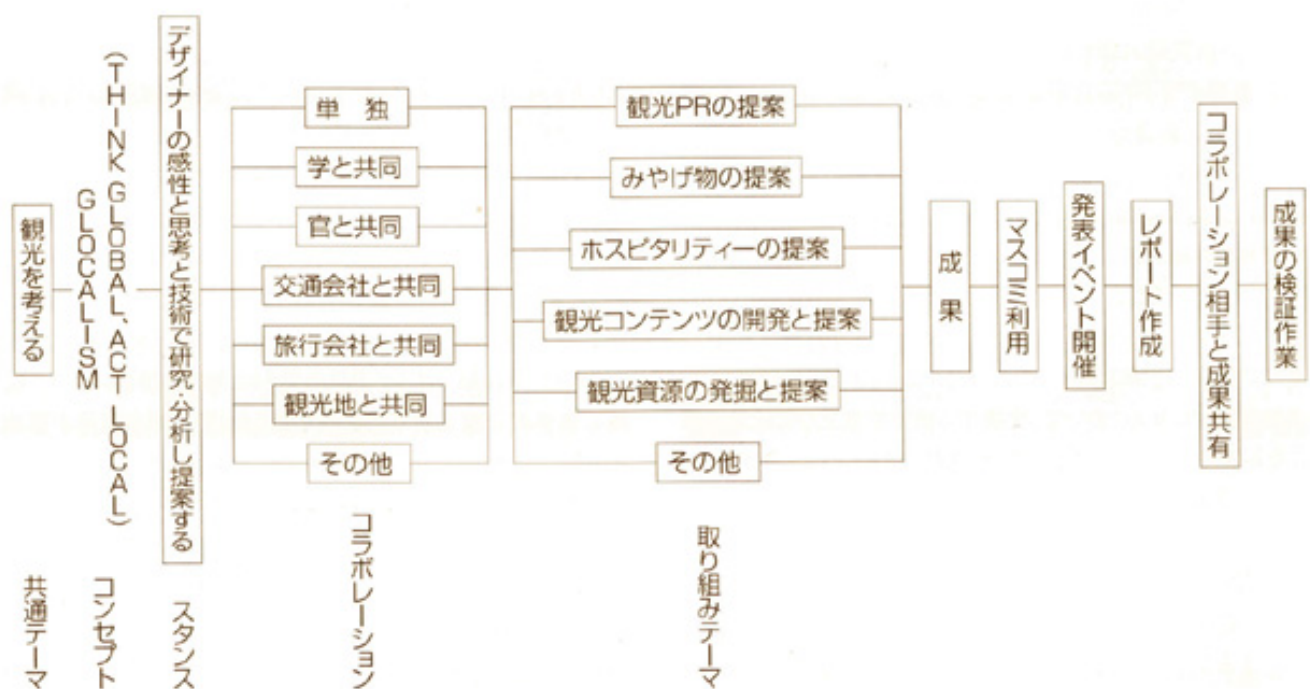
合同発表の内容は、例えば最初の発表イベントは「調査により抽出した現状の問題提起」といった課題で、各デザイン協会が取り組むサブテーマは異なれど、同一形式で発表会と同時に発表内容を分かりやすく視覚化したパネル展示会を開催することによりベクトルを調整する。この発表会と展示会をセットにして、4デザイン協会の地域を一地域月1回のペースで巡回開催する。又発表イベントの間の研究活動期間に適宜、必要に応じ実行委員会を開く。

以上



懇親会のようす

研究活動フレーム





近畿地方の各地域の デザイン協会との交流

堺デザイン協会と、他の協会とも交流しましょう。

一昨年、私共の堺デザイン協会の呼びかけで、下記の協会に堺東に集まっていただきました。それぞれの活動の報告や問題点を話し合い、そして懇親いたしました。

そして今年は奈良デザイン協会の呼びかけで、今後の共同活動など、次の交流の仕方について話し合うことになりました。

- 今回幹事・奈良デザイン協会……………24名参加
- 前回幹事・堺デザイン協会……………8名参加
- ・京都デザイン協会……………8名参加
- ・神戸デザイナーズ協会……………6名参加
- ・びわこデザイン文化協会……………3名参加

合計49名のデザイナーが5月30日奈良西ノ京の薬師寺「萬京」に集まり、活動テーマを討論、決定して、懇親の集まりを持ちました。

共同の活動テーマを「地域の観光を考える」と決定しました。各協会がそれぞれの地域で、デザイナーが貢献、提案活動をとっているかを知り、これからデザイン協会として、どう積極的に貢献するかを考えることになりました。

私ども堺デザイン協会では、理事から専任委員2名を決定しましたが、広く会員にも呼びかけたいと思います。

堺市の観光振興はいろいろと工夫されていますが、これを契機に他の地域の観光振興にどうデザイナーが参加しているかも学び、議論を進め、提言出来るようになりたいと思っております。

10月9日に第一回実行会議が開かれました。P10の報告の通りです。理事会での担当は、伊藤浩平(事業担当理事)、館野羊一(副理事長)が常任者です。

今後は必要に応じて事務局長や理事長にも参加していただきます。参加希望の方は、ぜひ事務局までお申し出下さい。

広報担当



落語『鷲とり』のアドリブと『にわか』について

館野羊一

あの名人落語家の桂枝雀の得意の噺に『鷲取り』という落語があります。

ある男が秋で有名な北野の、今の北区太融寺のそばにある、円頓寺(えんどうじ)の池に夜、寝ている鷲を取りに行きます。取り過ぎて腰の周りにくくり付けた鷲が男を飛ばしてしまい、すんでのところ、男は四天王寺の五重の塔の九輪につかまり難を逃れます。これを遠く玉江橋の上を、朝に仕事で急ぐ人が「天王寺さんの五重の塔に変なものが見える。行ってみましようか。あっそーれえらいこっちゃ〜えらいこっちゃ〜」と、有名な『にわか』のアドリブのシーンになります。

余談ですが、この「玉江橋から天王寺さんが見える」というのが「大阪の七不思議」の一つとされています。後述の「天王寺さん七不思議」と共に参照して下さい。さて、本題ですが、

桂枝雀はこのアドリブの部分でいろいろな『にわか』(駄洒落のことです)を創作して聴衆を楽しませます。また、この噺を演じる落語家がそれぞれ工夫をした『にわか』を披露します。上方の落語では三味線、鐘、太鼓で下座から『韋駄天』という走っているようなお囃子が入りまして、これに乗って笑わせる駄洒落を演じます。お囃子と駄洒落のからみが楽しく、爆笑をかきます。

桂文珍の『にわか』・駄洒落・桂枝雀のものを4つ集めました。ここでは一つだけ紹介します。

- 「ちよい、もし、ちよっと、もし。」
- 「何んだんねん。」
- 「いえ何んでえらいこっちゃと走ってまんねん。」
- 「こらあ、天王寺さんに怪物が現れたんです。」
- 「怪物?どんな怪物だんねん?」
- 「サア、サア、今朝がただんがな、亀の池に青い鳥みたいなもんが現れましたんやと。」
- 「何でんねん、それ。」
- 「何んやろと思ったらあーた、ずーっと上がってきたら、これが何んや鳥やおまへんねん。これが亀のね、大きな青い亀の甲羅でんねんがな。」

「何んだんねんそれ。」

「それはあーた、池の主だんがな。古い坊さんに聞いたら、それはね池の主でね、六十年に一遍だけ姿を現しまんねて。この青い大きな亀が、あーた現れたら、大火事やとか大水やとか、ろくなことがないんですと。」

「へえーそうでっか。それはなんとか退散してもらわんといけまへんな」

「そーだんねん。それでね、とろろ汁をね、とろろ汁を亀の頭からジャーッとかけてやったらシューッと姿を消してもたそうです。」

「それ何んだんねん。とろろ汁が怖いんですか。」

「とろろ汁が怖いらしいです。その青亀はね。」

「何でだんねん」

「いや、あの、青亀の怖いとろろ、言うてね。」

「なんです？」

「青亀の怖いとろろ、と言うてね。」

「それ、何んのこってんねん？」

「いや、よいいままっしやろ、♪あーあーあー、青亀の一怖いーとろろー！」

「えー、まあ…、にわかだっか。」

「にわかだんがな、あ、にわかじゃ、にわかじゃ」

♪～えらいこっちゃ、えらいこっちゃ。～

このように「にわか」という、アドリブを入れて工夫に工夫を重ねます。この「にわか」は、枝雀がカラオケで唄うのが得意の「憧れのハワイ航路」をもじっています。そして枝雀師匠はこの落語を英訳して、英語落語「バードハンター」とし、下げの部分の色々工夫されています。

今日、お話しテーマに落語「鷺取り」を選びましたのは、定形の演芸、例えば歌舞伎や文楽、クラシック音楽や邦楽のように定形を大切にしている芸術のちょっとした変形に注目しました。

桂枝雀は「笑いは緊張の緩和」だと言っています。歌舞伎の「東海道四谷怪談」でも、突然時事の駄洒落（にわか）を入れて殺伐とした芝居を和ませるシーンがあります。一瞬の緊張の緩和はホットするものです。

一方、音楽でもジャズは、とくに50年代のモダンジャズは即興演奏（アドリブ）の上手さを競いました。「ジャズに名曲無し。ただ名演奏あるのみ。」といった言葉はよく表しています。

アドリブ（即興性）の創作の質を高くすることは創作でも至難の技だと思います。マイルス・デイビスのトランペット、セロニアス・モンクのピアノでの「枯葉」や「マイフェイヴレット スィング」などは同じ演奏がありません。

これは落語の「まくら唄」にも、その落語家の創作性が表れます。桂枝雀は思いきり我々を笑わし、はっとさせ、落語の表現の革命をして、突然、死んでしまいました。本当に天才の死でした。

さりげなく笑っていただくということがどれ程難しいかを、いろいろな演芸で感じています。

私が転勤しました博多の元営業員の堺さんは「博多にわか」のお上手な方で、私は大好きでした。このたびの研究で「博多仁加」の種本を送って貰いました。いわゆる博多弁の駄洒落で、黒田忠之公の頃に始まったとされています。

大阪の夏まつりのあつまりの時に用いられる「大阪締め」の手締めと、九州博多の「博多締め」の手締めは早さの違いはありますが、同型です。「にわか」も太閤秀吉さんのお力で博多へ伝わり独特の「味」となったのでしょう。

「大阪の七不思議」「天王寺さんの七不思議」

さて、この落語では「玉江橋から真南の天王寺さんの塔が見える」というのが「大阪の七不思議」といわれています。これは大阪の北西にある玉江橋から南東の天王寺さんが真っすぐ南に見えるはずがない、という大阪人の常識を表現したもので、種明かしは玉江橋がそこだけ土佐堀川が南東に向いて曲がっているためであると、枝雀は説明しています。ところで落語愛好家がそんなら他の「大阪の七不思議を知りたい。」というお尋ねに、インターネットで質問していました。私も「大阪の七不思議」で検索で見てもみたら、ある落語団体が答えていましたし、堺市の不思議も一つ入っていましたので、後に上げて置きます。筆者が分からないものばかりなので、七不思議の解説の出来る方はお答え下さい。

ご存知の通り枝雀は桂米朝の弟子ですので、米朝の落語ではどんな味になるかと探してみました。米朝の全集には「鷺とり」はありませんでした。これは枝雀が桂米之助から教わったため、米之助は四代目桂米團治から教わったそうです。まくら部分はいろいろ面白い職業を紹介する「商売根問」になっています。これは「鷺とり」や「天狗さし」などの演題の導入部分として、楽しい風情を味わえます。「雀を取る」「金魚売り」「氷売り」などがまくらで語られます。桂文珍の「鷺とり」もまた、違うアドリブを楽しめます。…さて、問題の「大阪の七不思議」を上げておきます。今回はその詳しいお話しは出来ません。せめて堺市の一つだけでも、どなたかの解説をお待ちしています。あっ、それと天王寺さんの七不思議もあります。これにつきましては、四天王寺のパンフレットを手にいられるといいでしょう。

【大阪の七不思議】

◇1.千種の森の夜泣き石(堺市)

千種の森の石を持ち帰ると、森に帰りたい、と夜に泣く。

◇2.逆さ杉(南河内)

聖徳太子が食事に使った箸を差しておいたら、芽がふいて、やがて大木になった。

◇3.庭井の清水(大阪市)

大佐羅神社の井戸の水を汲み、神前に供えようと雨が降る。

◇4.真田の抜け穴(大阪市)

真田幸村の抜け穴と伝えられる。

◇5.蚊入らずの森

弘法大師が野宿した森からは、蚊が居なくなった。

◇6.鍋かつぎ(豊中市)

嫁の頭に鍋を載せて、住吉社に祈願すると、慈みの雨が降る。

◇7.黄金竹(茨木市)

多武峰に藤原釜足の首が移送されてから、大念寺の竹は上部が枯れる。

《出典》この七不思議は上方文化評論家の福井栄一先生の研究によります。このことが、インターネットで「大阪の七不思議」で検索出来ました。「嘶の会じゅげむ」のHPの「落語Q&A」のコーナーです。ご覧いただき、七不思議の詳細を教えてください。

堺さんが送ってくれました「博多にわか」より、一口にわかを一嘶、ご紹介します。

大根おろし

「この大根一本、いくらです?ナ」

「コウラー、一本十円ですタイ」

「ソラ高か!一本五円にまけときなざい」

「ぞうーたんのごと、原価が五円のとイ五円で売ったらあたしが利益が、ありませーも」

「ソラーそうクサ、あたきゃ昔から大根は、オロシ(卸ー下し)で、買ひよる」

◆博多弁ば、うまかなかと、笑らいましえん◆



堺デザイン協会賛助会員

アルスコポーレーション株式会社

〒599-8267 堺市八田寺町476-3 TEL072-260-2141

堺市議会議員 池原喜代子

〒591-8021 堺市新金岡町5-6-302 TEL072-258-4035

株式会社和泉利器製作所

〒590-0934 堺市九間町東1-1-5 TEL072-238-0888

大阪ガス株式会社

〒590-0973 堺市住吉橋町2-2-19 TEL072-238-2331

河盛泰三

〒590-0023 堺市南三国ヶ丘町3-5-4 TEL072-232-2700

堺商工会議所

〒591-8502 堺市長曾根町130-23 TEL072-258-5581

株式会社シマノ

〒550-8577 堺市老松町3-77 TEL072-223-3507

ばいこう堂株式会社

〒550-0013 大阪市西区新町3-4-3 TEL06-6532-5460

堺デザイン協会の正会員・賛助会員の募集

堺デザイン協会では、広くいろいろな分野のデザイナーの正会員を募集しています。堺市に勤めているか、または住んでいる方、または堺市でのデザイン活動に興味のある方が、会員になれます。また、主旨にご賛同いただき、企業および個人で、堺市を中心とした地域でのデザイン振興や啓蒙にご尽力いただける賛助会員を募集しております。

若い方で、デザイン界での交流、啓蒙の機会を求められる方はぜひ、ご参加下さい。

正会員・年会費 12,000円

賛助会員・年会費 30,000円

申し込みご希望の方は、事務局に資料をご請求下さい。

電話/FAX. 072-287-4466

総務担当理事 岡村哲伸まで

SADA

堺デザイン協会

事務局

〒599-8112
堺市日置荘原寺町180
株式会社白石彫刻研究所内
TEL・FAX 072-287-4466

《編集のあとで》

協会の活動を広く知っていただく。ご提案を会員からいただいたら、すぐにお知らせする。このことは広報委員の務めであり、会報は皆様が活用いただく広場でもあります。

23号はレターメール形式で初めて前回にお送りしました。不評でありましたのか、会員からの反応がありませんでした。後評がないのは、寂しいものであります。ぜひ読後の感想を、今回はお願い致します。総会の会計報告の通り会報は結構な支出でもあります。

今回も会員に呼びかけまして、研究論文やマイワークのご紹介、ご意見投稿などをお願いしましたところ、ご覧のように投稿をいただきました。ありがとうございます。

ただ苦言を呈しますが、投稿が遅いのであります。半年もお待ちしましたものもあります。期日を守られた方は、忘れたころに活字になって届く、と思われたものだとおもいます。申し訳ありません。

皆様、足並みをそろえて下さい。協会活動はボランティアで行っていただいております。担当の方のご努力に誠意をもって参加しましょう。でも、出版が遅れまして申し訳ありませんでした。

ぜひご意見や論文または、エッセイなどを次号25号の時は速やかに投稿してください。ご準備をお願いします。つねに会報SADAでは皆様の投稿をお待ちしています。



会報 **SADA** 24号
2004年12月

発行 堺デザイン協会

〒599-8112 堺市日置荘原寺町180
株式会社 白石彫刻研究所 内
TEL・FAX 072-287-4466

編集 堺デザイン協会広報委員会
館 野 羊 一